



横尾中だより

R5. 7. 18
第23号

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

ココロねっこ運動強調月間

7月、長崎県は「ココロねっこ運動強調月間」になっております。趣旨の冒頭には

本県における犯罪少年の検挙人数は年々減少傾向にあります。少年犯罪の低年齢化が問題となっているほか、スマートフォンやSNSを始めとする新たな機器・サービスが急速に普及しているに伴い、児童買春や児童ポルノを始めとするSNS利用に起因する被害児童数は、近年増加傾向となっており、子どもの性被害は深刻な状況にあります。

.....

とあります。

「全国強調月間の最重点課題等」として

- ◎インターネット利用におけるこどもの犯罪被害等の防止
- 有害環境への適切な対応
- 薬物乱用対策の推進
- 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- 再非行（犯罪）の防止
- 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動への対応

が掲げられております。

本校でも、1学期にネットトラブルの事案が起きました。携帯・スマホの学校への持ち込みは禁止しておりますので、携帯・スマホのトラブルは学校では把握できにくい状況にあります。現在は、特に「勝手に写真や動画をあげられた」、SNS上で誹謗中傷を受けた、などの事案が多くあっており、社会問題にもなっています。大人の社会では、肖像権の侵害、個人情報保護の視点、人権侵害などで、裁判になっている事例もあります。

子どもだからと言って許されない場合もありますので、十分にご留意ください。

何かありましたら、しっかりと写真などで保存していただければ助かります。

市PTA連合会でも提唱しております

- ① 21時以降のスマホなどを使用しない
- ② 家庭でのルールづくり

が大事なことではないかと感じております。

このココロねっこ運動強調月間に関連した2つの行事についても、ご紹介しておきます。

○ 薬物乱用防止教室

毎年、学校薬剤師の米澤健先生に、2年生で授業を実施してもらっています。

今年度も、7月13日（木）の5時間目に、お話をいただきました。長崎県内でも高校生が薬物を使用していた事件があり、学校関係者を驚かせて事案が数年前にあったことを記憶しています。大麻など、依存性の高い薬物を乱用すると、人生を棒に振ることになります。「絶対にダメ」というプリントも生徒たちには配付しております。



○ 「社会を明るくする集い」

7月16日（日）、地区の方でも「社会を明るくする集い」が開かれました。講師は、保護司の浦先生、北村先生、渡邊先生の3人の先生方で、特に浦先生は自転車のヘルメット着用について、豆腐を1mの高さから落とすとぐちゃぐちゃになるが、ヘルメットの中に入れ、同じような高さから落としても豆腐は崩れないといった実験を行い、ヘルメット着用の大切さについて話をされました。着用義務ですが、子どもたちの安全を守るためにもヘルメットの着用をお願いいたします。

